学校番号	409

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報の科学　（東京書籍）						
副教材等	自主プリント教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書とプリント主体の授業を行います。

１学期は、コンピュータの構成を学び、コンピュータの仕組みと働きを理解します。その後、プログラム製作の演習を通じて、プログラムの制御構造や処理手順を学びます。

２学期は、社会の情報化によって、人々の暮らしの変化について学びます。その後、ユニバーサルデザインやインターフェースについての考察をし、ピクトグラムの製作を通じて、それらを理解します。

３学期は、情報社会の安全を守るためのルールやマナーについて考察し、個人の責任を理解するとともに情報社会の発展について考察します。

２　学習の到達目標

情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響に関心を持ち、身の回りの問題を解決するために、情報技術を主体的に活用し、情報社会の発展に主体的に寄与しようとする。	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響及び身の回りの問題を解決するために情報や情報技術を活用することについて、科学的な考え方を活かし、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身に付け、効果的に活用している。	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための知識を身に付け、情報社会を支える情報及び情報技術の役割や影響を理解している。
評価方法	授業プリント 作品の評価 作品の相互評価 授業中の観察から評価	授業プリント 確認小テスト 作品の評価 作品の相互評価 授業中の観察から評価	授業プリント 確認小テスト 作品の評価 授業中の観察から評価	授業プリント 確認小テスト 授業中の観察から評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	コンピュータの仕組みと働き	・コンピュータの構成 ・処理の仕組み ・論理回路	○	○	○	○	a:コンピュータの構成や処理の仕組みに関心をもっている。 b:コンピュータの構成要素を機能別に分類でき、動作や計算の仕組みについて論理的に説明できる。 c:コンピュータの周辺機器を正しく接続できる。 d:コンピュータのソフトウェアやハードウェアについて理解し、論理回路を正しく理解している。	授業プリント 確認小テスト 授業中の観察から評価
1学期	プログラミング演習	・アルゴリズム ・プログラム	○	○	○	○	a:アルゴリズムや問題解決の自動実行に関心を持っている。 b:問題解決の処理手段を考え、各段階で適切な方法を選択している。 c:問題解決の処理手順をアルゴリズムを用いて表現することができる。簡単なプログラムを組むことができる。 d:アルゴリズムの考え方を理解している。プログラミングの基本的な操作を理解している。	授業プリント 作品の評価 作品の相互評価 授業中の観察から評価
2学期	社会の情報化と人の関わり	・暮らしの中の情報化 ・社会の情報化と生活の変化 ・操作性の向上と情報技術	○	○	○	○	a: 我々の生活が情報技術の発達によって変化していることに関心をもっている。 b:社会の情報化によって変化した生活の利点と欠点について思考し、表現できる。 c:自らの利便性を高めるために、向上していく情報技術を活用することができる。 d:情報技術の発達によって生まれた変化がどのように我々の生活に影響を及ぼしているのかを理解している。	授業プリント 確認小テスト 授業中の観察から評価

2学期	ピクトグラム製作	・ピクトグラム製作	○	○	○	○	a: 暮らしの中にあるピクトグラムが伝えたいことに関心をもっている。 b:ピクトグラムを用いて、自らの意見を表現できる。 c:ソフトウェアを用いて、ピクトグラムを製作できる。 d: 生徒が作成したピクトグラムの意図を理解している。	授業プリント 作品の評価 作品の相互評価 授業中の観察から評価
3学期	これからの社会と情報モラル	・新たなコミュニティー ・情報モラルとマナー ・社会の発展に向けて	○	○	○	○	a:情報社会の安全とそれを支えるために情報技術が活用されることに関心をもっている。 b:情報社会の安全について、情報技術や法や制度、人間との関わりから考え、その結果を適切に表現している。 c:情報社会の安全性を高めるために、情報技術を活用することができる。 d:情報社会の安全とそれを支える情報技術の活用について理解している。	授業プリント 確認小テスト 授業中の観察から評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。